

精神分析的な視点を学ぶ

2023年度

関門精神分析研究会のご案内

2023年度 関門精神分析研究会についてご案内いたします。

本研究会は文献講読と事例検討を通して、精神分析や精神分析的な心理療法についての理解を深めていくことを目的としています。文献講読では、特にクラインの考えについて理解を深めるため、クラインとそれに関連するフロイトの論文を中心に講読していきます。事例検討では、様々な臨床実践について精神分析的な視点から検討を試みます。そこでは週1回・50分といった外的な設定にはこだわりませんが、発表者が自分自身の心をつかって事例を理解しようとする態度が求められます。文献講読も事例検討も、参加者それぞれが心に感受したものやそこから考えたことを述べ合い、理解を深めていくことに本会の特徴があるといえます。私たちがこのように自らの心をつかって思考し、他者と交流することは、精神分析的な臨床力を高める上で必要な過程であるように思います。

参加要件は、①臨床心理士や公認心理師の有資格者、もしくは大学院生で守秘義務を守れる者で、②定期的な参加および事例の提示、能動的な姿勢での参加が可能であることの2点です。関心のある方は 下記連絡先までお申し込み・お問い合わせください。

* 臨床心理士の資格更新に関わる研修会（定例型）として申請予定

【日時・場所・参加費】

日時：2023年4月15日（土）14:00～17:00

* 原則、第三土曜日の14:00～17:00の開催です。

開催方法：オンライン会議システム GoogleMeet

年会費：12,000円（振込先は参加決定後にお伝えします）

定員：12名まで

* 講読する文献につきましては、申し込み手続き完了後にお伝えいたします。

【お申し込み・お問い合わせ】

兵頭心理オフィス（代表：兵頭）

e-mail：kokoro@hyodo-psychotherapy.com



【主催】

兵頭心理オフィス（兵頭憲二・日本精神分析学会認定心理療法士）、下関臨床心理オフィス（杉本正志・日本精神分析学会認定心理療法士）